

令和4年度 第2回宝達志水町社会教育委員会議

<日時> 令和4年11月21日(月) 午後7時～

<場所> 生涯学習センター「さくらドーム21」
2階 第1会議室

■出席者

<社会教育委員> 向瀬議長、中村委員、真木委員、美作委員、
欠席 池田副議長、豊田委員、柳生委員、栗原委員
<講師> 地域おこし協力隊 櫻井 大幹 氏
<事務局> 細江教育長、宮本課長、定免課長補佐、河端主幹

1 開会あいさつ

- ・向瀬議長
- ・細江教育長

2 議件

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| (1) 公立中学校部活動の地域移行について | 地域おこし協力隊 櫻井氏 説明 |
| (2) 成人式の名称変更について(報告) 資料2 | } 事務局説明 承認 |
| (3) 令和5年二十歳の誓い(成人式)について | |
| (4) その他 県社会教育委員研究協議会発表について | |

●(1) 公立中学校部活動の地域移行について

議 長 ・・今までは誰かがやってくれるものと思っていたが、実際に話を聞いてみて、課題が抱える大きさや今後、児童、保護者、指導者が大きな影響を受けるであろうことを実感した。櫻井さんは今、一人で動かれていますか。

櫻 井 ・・現在、学校教育課主体で地域移行のモデル事業が進んでいる。それは学校教育課主体であるが、担当の学校教育課職員の思い(課題)、外部指導者または部活動指導者の思い、委託先の宝達スポーツ文化コミッションの思い、この三者が最良の道(可能性)を模索し、目指すためのお手伝いというか、聞き取りを行っている。

議 長 ・・今現在やっている中学校の部活動で、団体、個人はあると思うが、移行することにより、スポーツ競技自体が集約されて、部活動として成り立たないことはあるか。

櫻 井 ・・チーム部活動では、合同部活動という取り組みをしている所も(他市町

に) あるが、予算や担当の所在がどこになるか等、先進地事例がない。

まずは、可能な部活動から地域移行していくという取り組みをしている。

櫻井 ・ ・ 子どもの立場から、地域格差や金銭面での格差によるの子どもスポーツの体験に格差が生じないように、スポーツ庁からのガイドラインがある。

チームスポーツについては、単独で活動するのが難しくなっているが、今後、先進地事例が示されるのを待ち、情報収集に努めたい。

委員 (中学校長) ・ ・ 能登地区は、都会と違い受け皿(指導者)がない。中体連も、クラブチーム所属者も大会参加を認める方向になっているので、今後、児童がそのようなクラブチームに所属して、そこから大会に出るといったような動きもある。

しかし、地域移行は、すぐには難しく、一番は指導者の問題がある。指導者も誰でも良い訳でなく、現状だと教員以外の者が指導する場合は「部活動指導員」の講習を受けてもらい、指導してもらっているのに、システム的にも難しい。ある程度の資格が大切である。外部指導者は校長が認めた者のみとなっている。勝手にすることはできない。

外部指導者は引率ができず、部活動指導者は教員がいなくても引率ができる。大きな差がある。今は昔と違い、とにかくライセンスが必要。A級、B級…ライセンスがあり、ベンチに入る人も(審判も含めて)講習を受けて、みんな最低限のライセンスが必要である。

議長 ・ ・ 先生だけにそのライセンスを求めるのは厳しいと思うので、地域の協会と連携できる仕組みを教育委員会でも…。

委員 (中学校長) ・ ・ 協会との連携が難しい。休日なら大丈夫でも、平日にできる人はいないと思う。地方は人材面で厳しい。

委員 ・ ・ 令和8年から完全に地域移行ですか。

委員 (中学校長) ・ ・ そうなっているが石川県では、この地域では難しい。

教育長 ・ ・ 地区によっては、受け皿がなく難しいので、どうなるのか分からない。宝達スポーツ文化コミッションも指導者を探している。地元の大学(学生指導者)にもあたっている。各市町も探りを入れている段階で、現在、宝スポを通じて土日に指導者を入れるというモデル事業をしている。その結果を見て、今後どうするかを考える。

令和5年から、地域移行コーディネーターを入れるべきという動きがスポーツ庁で進んでいる。

委員 (中学校長) ・ ・ 部活動において、教師は技術面だけでなく、生活面でも指導にあたって、勝利至上主義に走ってもらっては困る。

教育長 ・ ・ スポーツ庁では、土日はスポーツクラブ活動の充実を、とクラブチームへと推奨する動きも出ている。平日違うスポーツをして土日は…という風に、子どもたちをどう導くか。

議長 ・ ・ 今後ともいろいろな人の話を聞いて進めてほしい。

委員 ・ ・ うちの子は、部活動で本当に成長させていただいたと思う。生活面でも育てられた。しかし、子どもも減少しているし、先生にとっても難しい問題である。

現在、小学生低学年の孫がいるが、初めはどんなスポーツでもいいと思うし、初めから決めるのではなく、最終的に自分の好きなスポーツを選択できるように、小学生にスポーツ体験させる場があれば良いと思う。

櫻井 ・ ・ 今、言われたようにいろいろな選択の場から最終的に自分のスポーツを選択できるようにしたいと考えて、今後、小学生にスポーツ体験をさせる事業を予定している。

議長 ・ ・ そういうきっかけをを土台として、スポーツを選択できるという方向性でいくことが大切だと思う。

櫻井 ・ ・ 部活動という体験を通して、生活態度など、人間的にいろいろ育てられた自分の体験を元に、地域移行にあたり大切にしたいことを皆さんと共有したい。

議長 ・ ・ 今後も、2段階、3段階と進捗状況を知らせてほしい。

● (2) 成人式の名称変更について (報告)

● (3) 令和5年二十歳の誓い (成人式) について

議長 ・ ・ 成人式自体の内容を、新成人者 (実行委員会) が企画するのか。

事務局 ・ ・ 昨年までと内容は変わらない。実行委員会は、これまで同様に式典後の交流会の内容を企画することになる。

議長 ・ ・ 駐車場係は職員とするのか。

事務局 ・ ・ なかなか職員数のこともあり、そこまで手がまわらない状況である。新型コロナウイルス感染症の流行が行きつ戻りつしている状況で、会場に保護者に入っただけか否かも未定である。昨年までと同様に成人者のみなら、駐車場もそれほど混雑しない。

事務局 ・ ・ 二十歳の誓い (成人式) に出席される場合は、1月8日 (日) 午後0時

45分までに役場に集合して下さるようお願いいたします。
午後1時から受付を開始。出席できる方は12月2日（金）までに事務局
まで連絡をお願いします。

3 閉会

課長あいさつ

午後8時20分 終了